

8-3-7 持続可能な社会構築検討WG

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

委員会開催回数:9回

(企画委員会と同一日に開催)

(2) 委員会の活動経緯

前年度(令和3年度)は業界内外に発信できる“SDGsに関する提言”について、発信する対象とメッセージの検討を行ない、この中で異業種との連携事例を収集整理した。

本WG発足4年目となった令和4年度は、前年度の検討を踏まえ、提言を作成して協会ホームページに掲載したほか、提言を要約して分かりやすくまとめたリーフレット等の作成を行った。

(3) 委員会の活動内容

a) 提言の協会ホームページ掲載

SDGsに関する提言「SDGsでひらく建設コンサルタントの未来」では、業界内外に発信することを想定し、発信する対象として5つのターゲットを設定した。その上でそれぞれのターゲットに対し、発信したいメッセージの主旨について検討を行った。5つの対象とメッセージの主旨は以下の通り。

- ・ 一般、学生向け:建設コンサルタントの役割
- ・ 投資家向け:建設コンサルタントの事業活動とSDGsの親和性
- ・ 会員企業向け:ESG投資の急増、ESG指標とSDGsの関連、SDGs経営の重要性
- ・ 異業種向け:様々なステークホルダーとの協働、ビジネスマッチング
- ・ 世界に向けて:海外における高品質なインフラ整備

b) 協会パンフレットへのSDGs掲載

令和4年度に更新された建設コンサルタント協会パンフレットにおいて、提言の検討成果をもとにSDGsに関する内容を掲載し、下記のメッセージを発信した。

- ・ SDGsの目標を通じ、持続可能な社会の実現に貢献
- ・ SDGsへの取り組みによって企業価値を向上し、持続可能な企業経営を目指す
- ・ 様々なステークホルダー(業種)との共創

c) リーフレットの作成

建設コンサルタントにおけるSDGs(17ゴール)の取り組みを4つのカテゴリーに分類し、各カテゴリーについて概要を記載したリーフレットを作成した。提言の内容をリーフレットの形態にとりまとめたもので、今後協会ホームページに掲載するなどして発信していく。

d) 外部プラットフォーム登録の検討

協会ホームページに提言を掲載したことを機に外部のSDGsプラットフォームへの登録を検討した。プラットフォームとしては、内閣府地方創生プラットフォームとし、申請手続きを進めている。

e) 建設コンサルタント白書での発信

建設コンサルタント白書にはSDGsへの取り組みについて発信しているが、令和5年度版について、「海外情勢を踏まえた循環型社会への貢献」と題し、サプライチェーンの世界的混乱が生じている今、地域の資源を活かした循環型社会の構築に建設コンサルタントが貢献していることを発信する。

2. 次年度の活動について

本年度に継続して、以下の活動を進める。

- (1) 協会会員各社の支援となる、SDGs経営に関する更なる発信
- (2) 会員各社の取り組みの発信に関する検討

(持続可能な社会構築検討WG WG長

山本 誠二)